

DCS-4603

Full HD PoE Dome Camera

ユーザマニュアル



目次

1. お使いになるまえに	4
本製品について	5
機能概要	5
本製品の特長	5
本製品の接続例	5
製品名と品番	5
本マニュアルについて	6
マニュアルの構成	6
マニュアルの対象者	6
表記規則	6
安全にお使いいただくために	7
ご使用上の注意	8
静電気障害を防止するために	9
バッテリーの取り扱いについて	9
電源の異常	9
2. 設置のしかた	10
パッケージの内容	11
動作環境	11
設置についてのご注意	11
本体各部名称	12
本体	12
ケーブルコネクタ	13
製品の設置/角度の調整	14
オプション取付キットを使用せずに設置する場合	14
角度の調整	16
オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合	17
オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合	18
オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合	20
インストールウィザード	22
3. WEB GUI 画面について	24
WEB GUI画面へのログイン	25
WEB GUI画面からのログアウト	25
Web GUI画面の構成	26
LIVE VIDEO	26
SETUP	27
ADVANCED	27
MAINTENANCE	28
STATUS	28
HELP	29
4. Set Up (基本設定)	30
Setup Wizard	31
インターネット接続設定	31
IPカメラ動体検知設定	33
Network Setup	35
Dynamic DNS	39
Image Setup	40
Video	41
Motion Detection	43
Time and Date	44
Event Setup	45
SERVER	46
MEDIA	47
EVENT	48
RECORDING	50

5. Advanced (詳細設定)	51
ICR and IR.....	52
HTTPS.....	53
Access List.....	54
SNMP.....	55
6. Maintenance(メンテナンス)	56
Admin.....	57
System.....	59
Firmware Upgrade.....	60
7. Status(ステータス)	61
Device Info.....	62
Log.....	63
8. 付録	64
工場出荷時設定に戻す.....	65
リセットボタンを使用する場合.....	65
Web GUIからリセットする場合.....	65
FAQ.....	66

お使いになるまえに

1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書および設置マニュアルをよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で記載事項に従ってご使用ください。

■ 本製品について.....	5
機能概要.....	5
本製品の特長.....	5
本製品の接続例.....	5
製品名と品番.....	5
■ 本マニュアルについて.....	6
マニュアルの構成.....	6
マニュアルの対象者.....	6
表記規則.....	6
■ 安全にお使いいただくために.....	7
■ ご使用上の注意.....	8
■ 静電気障害を防止するために.....	9
■ バッテリーの取り扱いについて.....	9
■ 電源の異常.....	9

本製品について

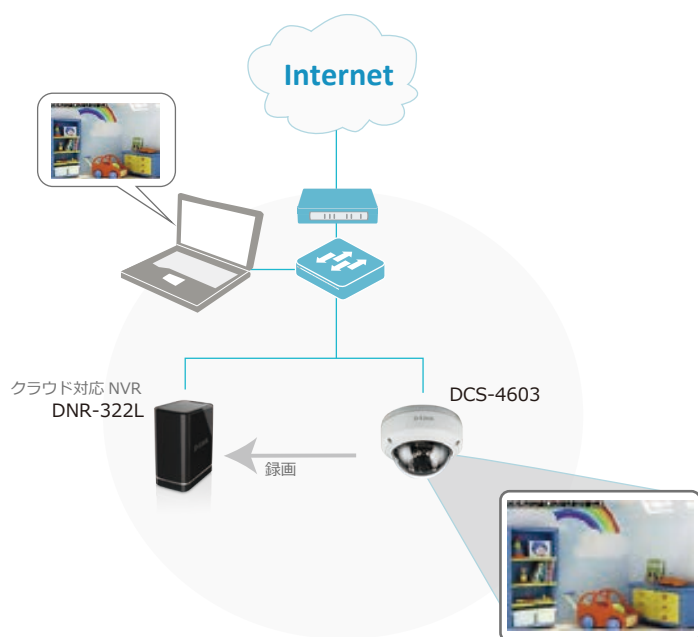
■機能概要

DCS-4603 は、高画質対応、動体検知機能など優れたコストパフォーマンスを提供するドーム型ネットワークカメラです。10/100BASE-TXポートは PoE 受電機能に対応しており電源供給の難しい箇所においても設置を可能にします。Web ブラウザを使用して、簡単にインターネット経由でどこからでもライブ映像の視聴やカメラの管理を行うことが可能です。また、ネットワークビデオレコーダーのDNR-322L に接続することで、大容量の録画を快適に管理・閲覧することができます。

■本製品の特長

- NVR (DNR-322L) 対応
- PoE (IEEE802.3af)
- HD
- メガピクセル
- WDR
- 夜間モード
- プライバシーマスク機能
- 動体検知
- ONVIF
- H.264
- RoHS指令対応

■本製品の接続例



■製品名と品番

製品名	品番
DCS-4603	DCS-4603/A1

本マニュアルについて

■ マニュアルの構成

1章: お使いになるまえに

本マニュアルの紹介と、本製品をお使いになる前の注意事項を記載しています。

→『[お使いになるまえに](#):p.4』

2章: 設置のしかた

本製品の各部名称と設置方法について説明します。

→『[設置のしかた](#):p.10』

3章: WEB GUI画面について

本製品の設定・管理を行うWEB GUIへのログイン方法および画面構成について説明します。

→『[WEB GUI画面について](#):p.24』

4章: Setup(基本設定)

ネットワーク設定やプロフィールの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

→『[Set Up \(基本設定\)](#):p.30』

5章: Advanced(詳細設定)

ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

→『[Advanced \(詳細設定\)](#):p.51』

6章: Maintenance(メンテナンス)

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

→『[Maintenance\(メンテナンス\)](#):p.56』

7章: Status(ステータス)

カメラのデバイス情報とログを表示します。

→『[Status\(ステータス\)](#):p.61』

8章: 付録

製品を工場出荷時の設定に戻す方法や、FAQ(よくご質問いただく内容)などについて記載しています。

→『[付録](#):p.64』

■ マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

■ 表記規則

本マニュアルでは以下の記号を使用します。

⚠警告 この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。

⚠注意 この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

重要 設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

メモ 特長や技術についての詳細情報を記述します。

本マニュアル中での字体、記号についての表記規則は以下のとおりです。

字体	解説	例
『水色』	マニュアル内の参照先	『 Set Up (基本設定) :p.30』
[青色]	画面遷移	[SETUP] > [Setup Wizard]



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください













本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。







記号の意味

 してはいけない「禁止」内容です。  必ず実行していただく「指示」の内容です。

警告

- | | |
|--|--|
| <p> 分解禁止
分解・改造をしない
機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。</p> <p> 禁止
落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因につながります。</p> <p> 禁止
発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
感電、火災の原因になります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼してください。</p> <p> ぬれ手禁止
ぬれた手でさわらない
感電のおそれがあります。</p> <p> 水ぬれ禁止
水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。</p> <p> 禁止
油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
火災、感電、または故障のおそれがあります。</p> <p> 禁止
内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、または故障のおそれがあります。</p> <p> 禁止
表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障のおそれがあります。</p> <p> 禁止
たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 禁止
設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障のおそれがあります。</p> <p> 禁止
雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電のおそれがあります。</p> | <p> 禁止
ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。</p> <p> 禁止
正しい電源ケーブル、コンセントを使用する
火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 禁止
乳幼児の手の届く場所では使わない
やけど、ケガ、または感電の原因になります。</p> <p> 禁止
次のような場所では保管、使用をしない
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・動作環境範囲外</p> <p> 禁止
光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。</p> |
|--|--|

注意

- | |
|---|
| <p> 禁止
静電気注意
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。</p> <p> 禁止
コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。</p> <p> 禁止
振動が発生する場所では使用しない
接触不良や動作不良の原因となります。</p> <p> !
付属品の使用は取扱説明書にしたがう
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因となります。</p> <p> !
高温注意
動作中に高温になる場合があります。
製品の移動や取り外しの際は、慎重に触れるようにしてください。
低温やけどの原因となります。</p> <p> 禁止
長時間触れたまま使用しない
動作中、製品が熱くなることがあります。
長時間触れたまま使用しないでください。
低温やけどの原因となります。</p> |
|---|

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- ◎ 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方法でのご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マークがついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- ◎ 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
 - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
 - 製品の中に異物が入った。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下した、または損傷を受けた。
 - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- ◎ 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- ◎ 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- ◎ 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- ◎ 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- ◎ カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- ◎ 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプがわからない場合は、サービス会社、あるいはお近くの電力会社にお問い合わせください。
- ◎ システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ（装備されている場合のみ）がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
 - 東日本では100V/50Hz、西日本では100V/60Hz
- ◎ また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- ◎ 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- ◎ 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- ◎ 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- ◎ 一時的に急激に起こる電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ◎ ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- ◎ 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- ◎ システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- ◎ 製品の移動は気をつけて行ってください。カメラカバーなどがしっかり装着されているか確認してください。
- ◎ 製品は動作中に高温になる場合があります。製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- ◎ 製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけの原因になります。

静電気障害を防止するために

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、静電気放出 (ESD) による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントをシステムに取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

バッテリーの取り扱いについて

⚠ 警告

不適切なバッテリーの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリーの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものでご使用ください。バッテリーの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した/する場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

設置のしかた

2

本製品の各部名称や、設置する際の準備・方法について説明します。
設置を行う際にお読みください。

■ パッケージの内容.....	11
■ 動作環境	11
■ 設置についてのご注意	11
■ 本体各部名称.....	12
前面	12
ケーブルコネクタ.....	12
■ LED表示.....	13
電源 / リンクLED	13
■ 製品の設置/角度の調整.....	14
オプション取付キットを使用せずに設置する場合	14
角度の調整	16
オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合	17
オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合	18
オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合	20
■ インストールウィザード.....	22

パッケージの内容

本製品には、以下のものが同梱されています。

- 本体
- CD-ROM
- マニュアル
- マウント用ネジ
- シリアルラベル

不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までご連絡ください。

動作環境

本製品の動作には、以下の環境が必要です。

- 以下のブラウザをサポートしているコンピュータ
 - Microsoft Internet Explorer 9 以降
 - Apple Safari 6 以降
- イーサネットへの接続

設置についてのご注意

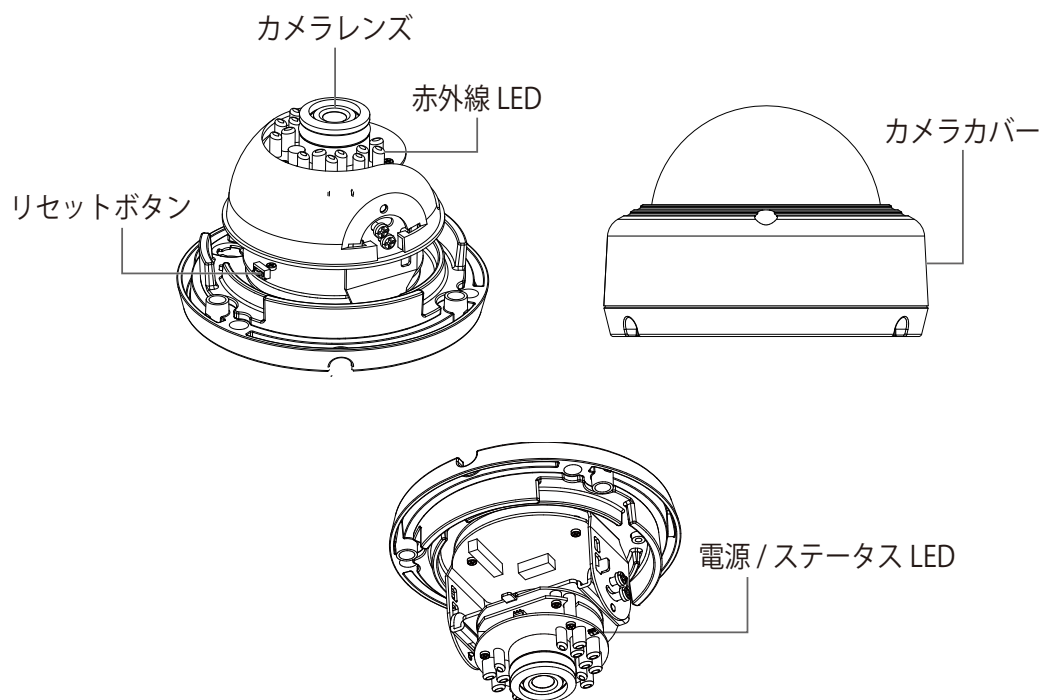
製品を設置する前に以下の注意事項をご確認ください。

- ◎ 製品は動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。

本体各部名称

本製品の各部名称について説明します。

■本体

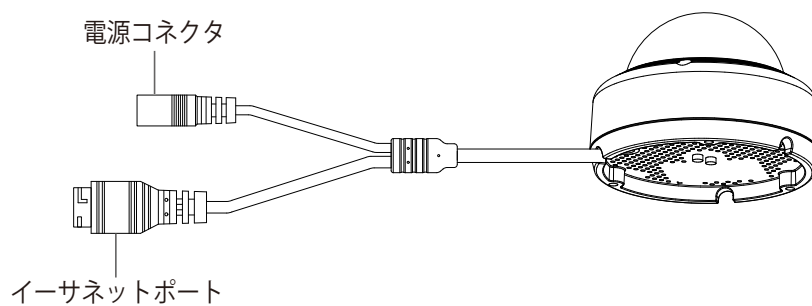


名称	説明
カメラレンズ	撮影を行います。
赤外線LED	赤外線LEDです。夜間など撮影環境の照度が低い場合に使用します。
リセットボタン	設定を工場出荷時状態に戻すときに使用します。
カメラカバー	カメラを保護します。
電源 / ステータスLED	電源および通信状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・消灯: 電源が入っていません。 ・赤色に点灯: 電源が入っていますが、ネットワークに接続していません。 ・緑色に点灯: 電源が入っていて、ネットワークに接続しています。 ・緑色に点滅: 電源が入っていて通信中です。

メモ

- ・ Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。

■ケーブルコネクタ



名称	説明
電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
イーサネットポート	イーサネットケーブルを接続します。(PoE接続)

メモ

- ACアダプタは同梱されていません。PoEでご利用ください。

製品の設置/角度の調整

本製品の設置方法について説明します。

オプション取付キットを使用せずに設置する方法と、オプション取付キット (DCS-37-1、DCS-37-2、DCS-37-3) を使用して設置する方法があります。

設置を行う前に本製品の設定を行うことをおすすめします。

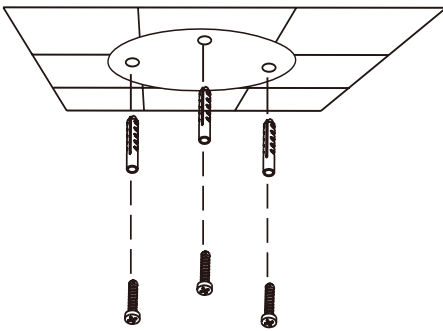
■オプション取付キットを使用せずに設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所にマウントステッカーを貼ります。

⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

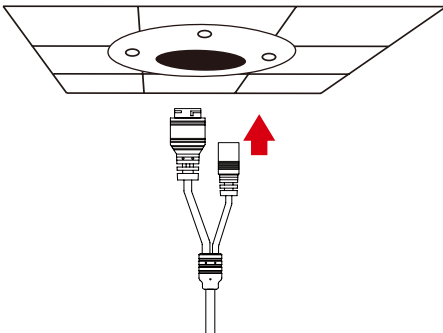
2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。



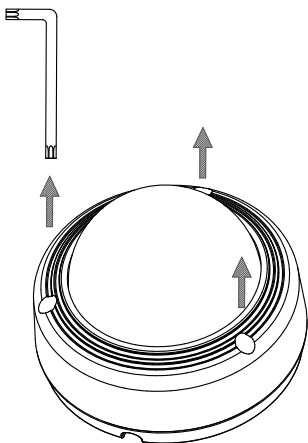
⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

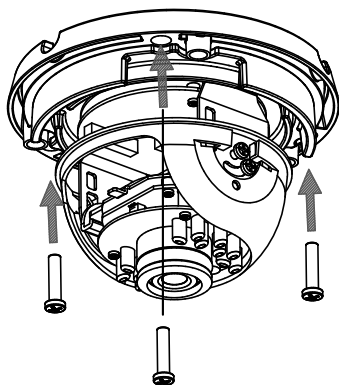
3. 壁や天井にカメラのケーブルを通す場合は、ステッカーの真ん中の位置にも穴をあけます。



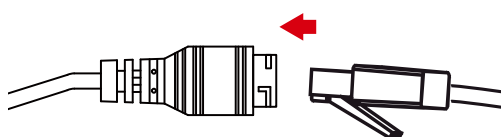
4. 同梱のレンチを使用し、カメラカバー上部の3つのネジを緩めてカバーを外します。



5. 同梱のネジを使用し、カメラを壁に取り付けます。カメラのケーブルを壁や天井に通さない場合、カメラ基底部の溝にはめるようにしてケーブルを外部に出します。



6. 本製品の LAN ポートに UTP ケーブルの一端を接続し、UTP ケーブルの另一端を、PoE 給電機器の給電ポートに接続します。

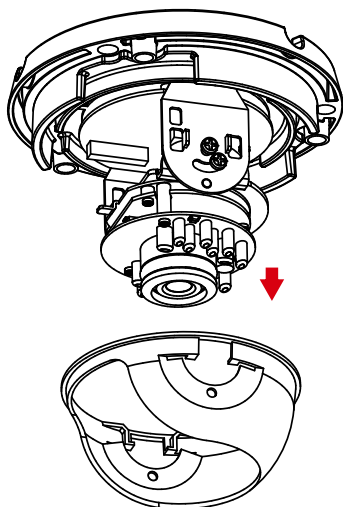


メモ

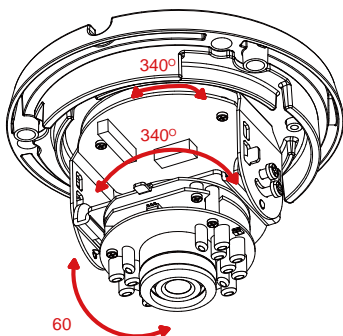
- ・ ACアダプタは同梱されていません。PoEでご利用ください。

■ 角度の調整

1. カメラの角度を調整するには、内側の黒いカバーを取り外します。



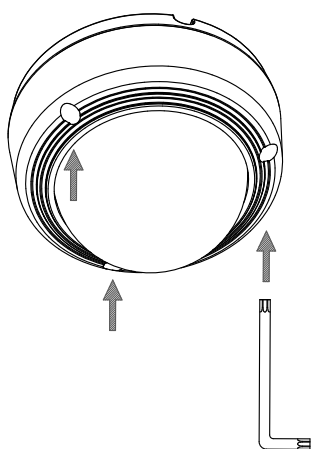
2. カメラ側面の調節ネジを緩め、カメラの角度を調整します。カメラを掴んだ状態で、右や左に回転することも可能です。



重要

カメラの可動範囲は限られています。調節の際、停止した位置から無理やり回転したり傾けたりしないでください。

3. ネジを締め、内側のカバーを元に戻します。
4. カメラカバーを元に戻します。

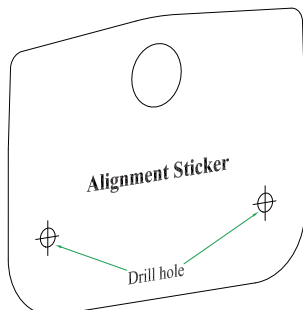


■オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-1 のステッカーを貼ります。

⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

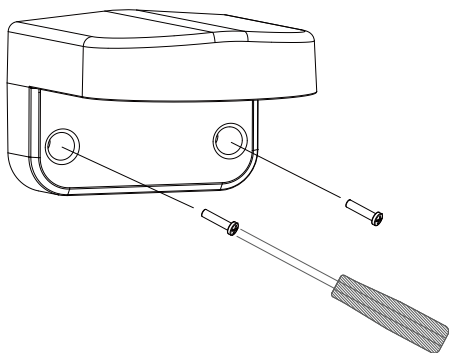


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルを通す位置にも穴をあける必要があります。

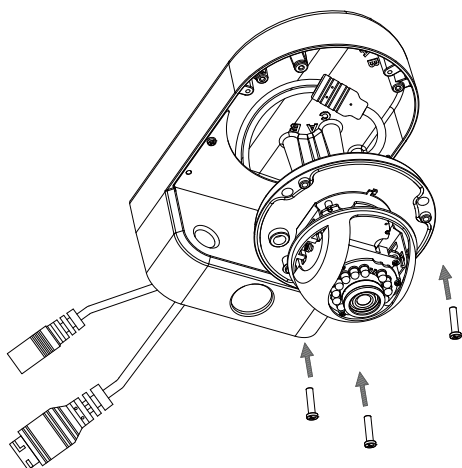
⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

3. 同梱のネジを使用し、DCS-37-1 を壁に取り付けます。



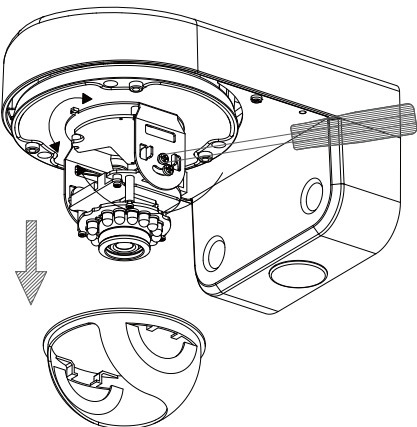
4. カメラのカバーを取り外します。
5. DCS-37-1 の背部または下部にあけられた穴に、カメラのコネクタを通します。A と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-1 にカメラ本体を取り付けます。



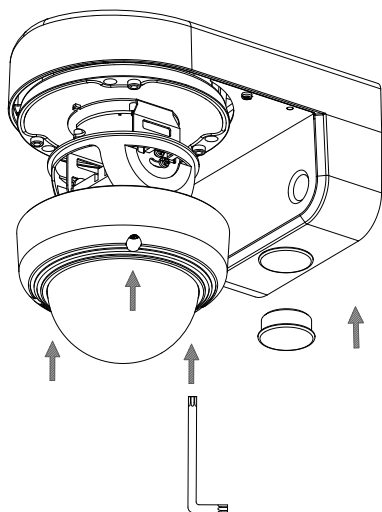
メモ

- ・カメラ内側のカバーの開閉部が撮影エリアの方向を向くように、カメラ本体を配置します。カメラの向きは後から調整することも可能です。

6. 内側のカバーを取り外し、カメラの角度と回転を調整します。調整後、内側のカバーを元に戻します。



7. 外側のカメラカバーを元に戻します。カメラのケーブルを壁に通す場合は、下部のケーブル用の穴にゴムストッパーを装着します。

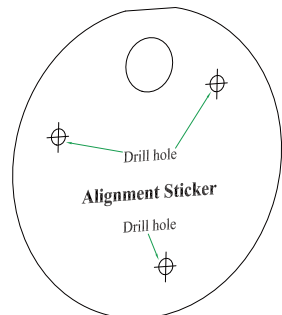


■オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-2 のステッカーを貼ります。

⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

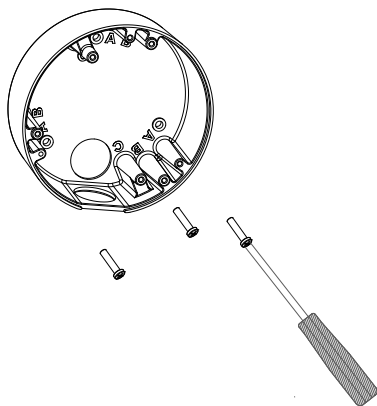


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルを通す位置にも穴をあける必要があります。

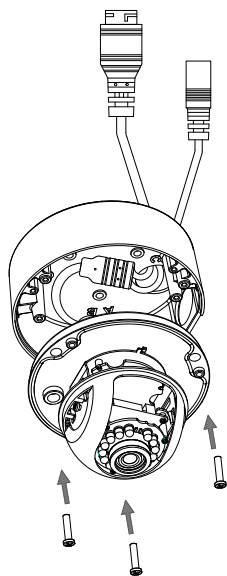
⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

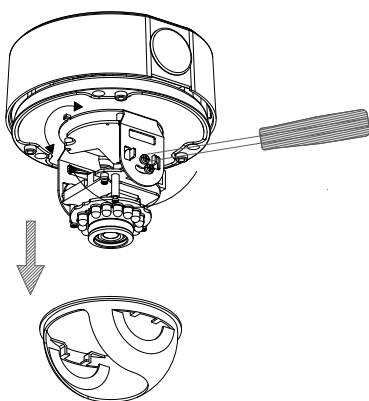
3. 内側のネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-2 を壁に取り付けます。



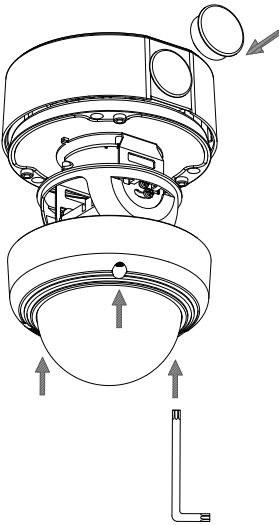
4. カメラのカバーを取り外します。
5. DCS-37-2 の背部または側面の穴に、カメラのコネクタを通します。A と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-2 にカメラ本体を取り付けます。



6. 内側のカバーを取り外し、カメラの角度と回転を調整します。調整後、内側のカバーを元に戻します。



7. 外側のカメラカバーを元に戻します。カメラのケーブルを壁に通す場合は、側面のケーブル用の穴にゴムストッパーを装着します。

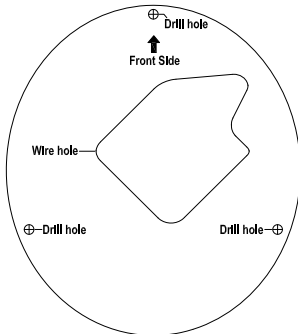


■オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-3 のステッカーを貼ります。

⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

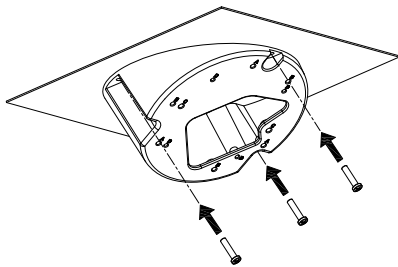


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルチャンネル用にも穴をあける必要があります。

⚠注意

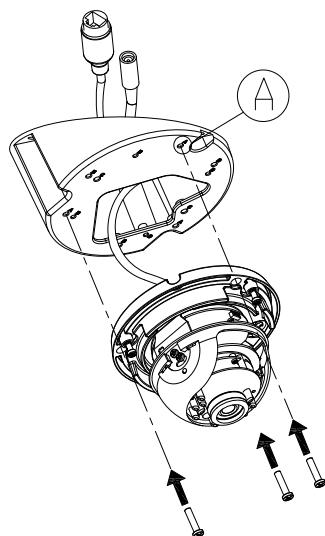
- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

3. 内側のネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-3 を壁に取り付けます。



4. カメラのカバーを取り外します。

- DCS-37-3 の中心の穴に、カメラのコネクタを通します。A と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-3 にカメラ本体を取り付けます。



メモ

- カメラ内側のカバーの開口部が撮影エリアの方向を向くように、カメラ本体を配置します。カメラの向きは後から調整することも可能です。

- 内側のカバーを取り外し、カメラの角度と回転を調整します。調整後、内側のカバーを元に戻します。
- 外側のカメラカバーを元に戻します。

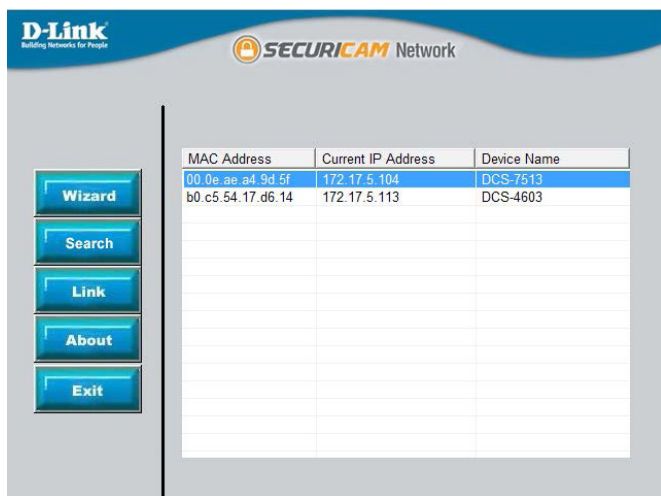
インストールウィザード

同梱されたCDのインストールウィザードを利用して設定を行うことができます。

1. CD-ROMをお使いのPCに挿入します。
2. [Setup Wizard] をクリックし、画面の表示にしたがってインストールを行ってください。



3. インストールが完了すると、Setup Wizard が起動します。Setup Wizard 画面には、接続されているカメラの MAC アドレスと IP アドレスが表示されます。DHCP サーバを使用していない場合、カメラの既定の固定 IP アドレスは 192.168.0.20 です。カメラを選択し、[Wizard] ボタンをクリックします。



メモ

- Setup Wizard画面を閉じてしまった場合は、Windowsのスタートメニューから、[Start] > [D-Link] > [Setup Wizard SE]をクリックします。

4. 管理者 ID とパスワードを入力します。初回ログイン時の既定値は、ID が「admin」、パスワードはなしです。ID とパスワードを変更したい場合は、[Change] のチェックボックスにチェックを入れ、新しい ID とパスワードを入力してください。入力完了後、[Next] をクリックします。

The screenshot shows the 'Set up an Admin ID and Password to secure your camera.' screen. It includes fields for 'Admin ID' and 'Password', and a section for 'Change' with 'New ID', 'New Password', and 'Reconfirm' fields. Navigation buttons 'Back', 'Next', and 'Exit' are at the bottom.

5. DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合は [DHCP]、手動で IP アドレスを設定する場合は [Static IP] を選択します。設定完了後、[Next] をクリックします。

The screenshot shows the 'Set IP Address' screen. It has radio buttons for 'DHCP' (selected) and 'Static IP'. Below are input fields for 'IP Address', 'Subnet Mask', 'Default Gateway', 'Primary DNS', and 'Secondary DNS'. Navigation buttons 'Back', 'Next', and 'Exit' are at the bottom.

6. 設定を確認し、[Restart] をクリックします。

The screenshot shows the final configuration summary screen. It lists the configured values: Admin ID (admin), Password (empty), IP Address (192.168.0.102), Subnet Mask (255.255.255.0), Primary DNS (192.168.0.1), and Secondary DNS (192.168.0.1). A message states: 'The Setup Wizard has completed. Click on 'Back' to modify your settings. Click 'Restart' to save your current settings and reboot the Internet Camera.' Navigation buttons 'Back' and 'Restart' are at the bottom.

重要

インストールウィザードでは、本製品の IP アドレスおよびユーザ名、アカウントの設定も行います。Web GUI にアクセスするため、以下の情報をメモしておいてください。

- 本製品の IP アドレス
- ユーザ名
- パスワード

WEB GUI 画面について 3

本製品は、WEB GUI画面から設定・操作を行うことができます。
WEB GUI画面へのログイン方法と画面構成について説明します。

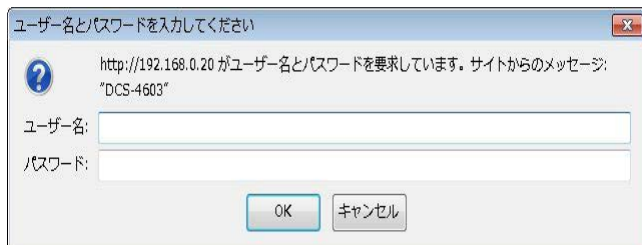
■ WEB GUI画面へのログイン	25
■ WEB GUI画面からのログアウト	25
■ Web GUI画面の構成	26
LIVE VIDEO	26
SETUP	27
ADVANCED	27
MAINTENANCE	28
STATUS	28
HELP	29

WEB GUI画面へのログイン

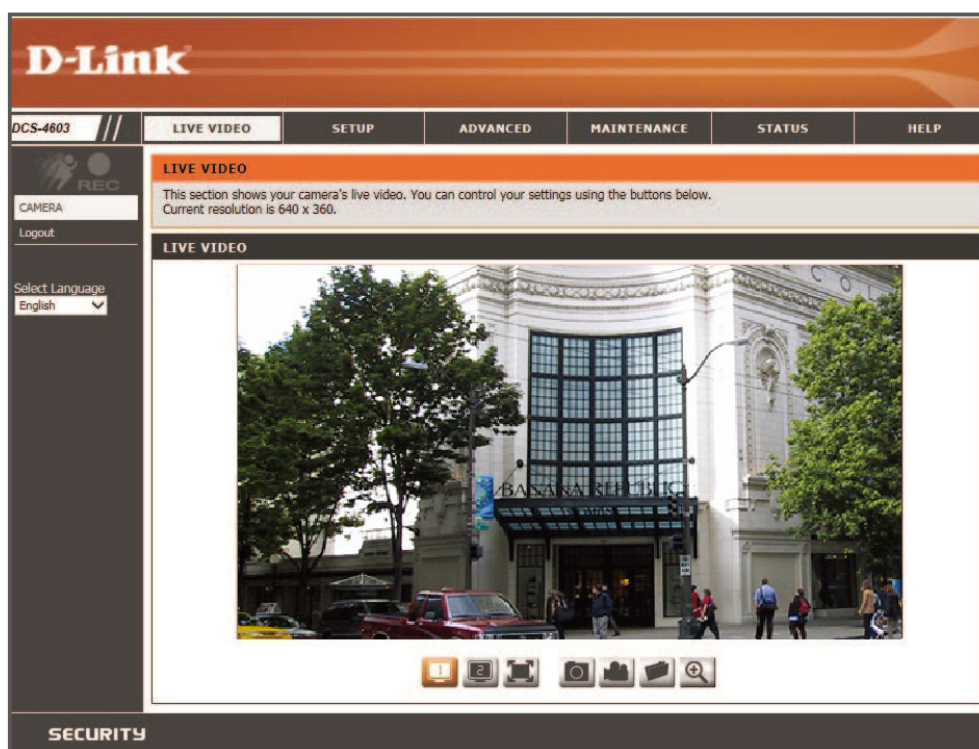
1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザに本製品の IP アドレスを入力します。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



4. 以下の画面が表示されます。



メモ

- 本製品のIPアドレス(初期値)は「192.168.0.20/24」です。
- IPアドレス・ユーザ名・パスワードはセットアップウィザードからも設定できます。
- Internet Explorer の使用時にLive Video画面が表示されない場合、プラグインのインストールが完了していない可能性があります。その場合、画面下に表示されるメッセージに従ってプラグインをインストールしてください。

WEB GUI画面からのログアウト

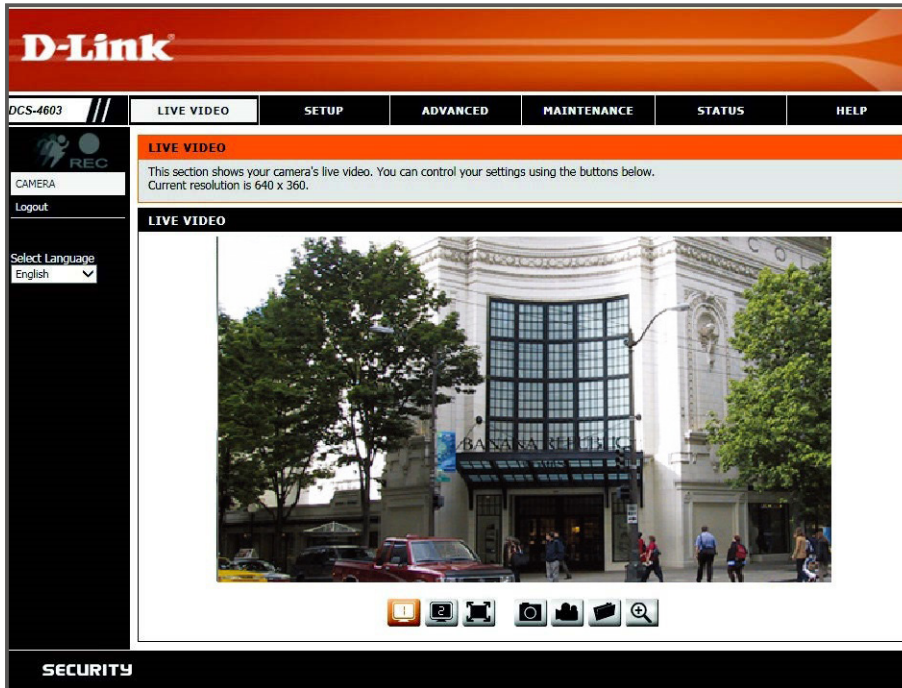
1. 画面左側のメニューにある [Logout] をクリックします。
2. 以下の画面で [Logout] をクリックします。



Web GUI画面の構成

LIVE VIDEO

Web GUIへのログイン後に表示される画面です。現在カメラがとらえている映像が表示されます。



アイコン/UI	説明
	動体検知が行われているときに点灯します。
	録画が行われているときに点灯します。
Select Language	Web GUIの表示言語を選択します。
	プロフィールを選択します。各プロフィールのフレームサイズなどの設定は、Video画面で行います。 『Video:p.41』
	画像を全画面表示にします。全画面表示を解除するには、ダブルクリックまたはEscキーを押下します。
	スナップショットを作成します。
	録画を行います。録画を停止するには、もう一度アイコンをクリックします。画面を閉じると、録画は停止されます。
	ストレージフォルダを指定します。指定したフォルダにスナップショットや録画ファイルが保存されます。
	デジタルズームを有効化/無効化します。Zoom画面が表示されるので、スライダーを動かしてズームイン/アウトを行います。

SETUP

ネットワーク設定やプロファイル設定など、カメラの機能の基本的な設定を行います。
『Set Up (基本設定): p.30』

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Video
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
Logout

INTERNET CONNECTION SETTINGS

In this section, you can setup the IP camera's wired network interface settings. If you are configuring this device for the first time, D-Link recommends that you click the Setup Wizard button, and follow the instructions on screen. If you wish to modify or configure the IP camera settings manually, click manual setup to enable the IP camera connection setup.

Internet Connection Setup Wizard Manual Internet Connection Setup

IP CAMERA MOTION DETECTION SETTINGS

In this section, you can setup the IP camera's Motion Detection settings. If you are configuring this device for the first time, D-Link recommends that you click the Setup Wizard button, and follow the instructions on screen. If you wish to modify or configure the Motion Detection manually, click manual setup to enable the Motion Detection setup.

Motion Detection Setup Wizard Manual Motion Detection Setup

Helpful Hints..

If you are an advanced user and have configured an Internet camera before, click 'Manual Internet Connection Setup' to input all settings manually.

If you consider yourself an advanced user and you want to manually set up motion detection settings, click 'Manual Motion Detection Setup' to input all the settings manually.

ADVANCED

ICR(IR Cut Removable)機能、アクセスリストによるセキュリティの設定など、カメラの詳細設定を行います。
『Advanced (詳細設定): p.51』

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

ICR and IR
HTTPS
Access List
SNMP
Logout

ICR AND IR

An IR(Infrared) Cut-Removable(ICR) filter can be disengaged from the image path for increased sensitivity in low light environments. The ICR filter will automatically engage depending on the ambient light, allowing the camera to be effective in day/night environments.

- Select the Day/Night from the radio button. The available options are Automatic, Schedule mode, Day mode and Night mode.
- The default value is Automatic.

Light Sensor Sensitivity
Light sensor sensitivity has Low, Medium, and High three different levels. You may get current camera light illumination by clicking Refresh button to set proper level of Light sensor sensitivity. For example, when level sets at High less than 30lux, camera will switch Day & Night mode to Night mode.

IR Light
The built-in IR light illuminators will be activated automatically or manually so as to supplement the low light situation without additional equipment.

Save Settings Don't Save Settings

ICR

Removable IR-Cut filter trigger condition:

Automatic Sensitivity: Medium: <20lux under 10 lux Refresh

Day mode

Helpful Hints..

ICR and IR:

Automatic: The day/Night mode is set automatically. It is normally set in the Day mode and changes to the Night mode in a dark place.

Day mode: The Day mode means disable the IR Cut Filter.

Night mode: The Night mode means enable the IR Cut Filter.

Schedule mode: Set the Day/Night mode using the schedule. Fill in the time so the Day/Night mode is normally set to Day mode and it enters the Day mode at the start time and returns to the Night mode at the end time.

MAINTENANCE

ユーザアカウントの設定やファームウェアアップグレードなど、製品のメンテナンスを行います。
[『Maintenance\(メンテナンス\):p.56』](#)

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED **MAINTENANCE** STATUS HELP

Admin
System
Firmware Upgrade
Logout

ADMIN

Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.

ADMIN PASSWORD SETTING

New Password 63 characters maximum
 Retype Password

ADD USER ACCOUNT

User Name 5 users maximum
 New Password 63 characters maximum
 Retype Password

USER LIST

User Name

DEVICE SETTING

IP Camera Name 16 characters maximum
 Enable OSD
 Label 16 characters maximum

LED

LED On Off

Helpful Hints..

Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user.

For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten.

LED: In the near panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.

STATUS

デバイス情報およびログの表示を行います。
[『Status\(ステータス\):p.61』](#)

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE **STATUS** HELP

Device Info
Log
Logout

DEVICE INFO

All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.

INFORMATION

IP Camera Name	DCS-4603
Time & Date	Fri Jan 2 4:12:38 2000
Firmware Version	1.01.00
Hardware Version	A
MAC Address	B0:C5:54:39:7B:79
IP Address	192.168.0.20
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.20
Primary DNS	0.0.0.0
Secondary DNS	0.0.0.0
PPPoE	Disable
DDNS	Disable

Helpful Hints..

This page displays all the information about the IP camera and network settings.

HELP

Web GUI画面上部の[Help]をクリックすると、以下の画面が表示されます。
確認したい項目をクリックし、説明を参照してください。

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Help
Logout

HELP

- LIVE VIDEO
- SETUP
- MAINTENANCE
- ADVANCED
- STATUS

LIVE VIDEO

- [Camera](#)

SETUP

- [Setup Wizard](#)
- [Network Setup](#)
- [Dynamic DNS](#)
- [Image Setup](#)
- [Video](#)
- [Motion Detection](#)
- [Time and Date](#)
- [Event Setup](#)

ADVANCED

- [ICR and IR](#)
- [HTTPS](#)
- [Access List](#)
- [SNMP](#)

MAINTENANCE

- [Admin](#)
- [System](#)
- [Firmware Upgrade](#)

STATUS

- [Device Info](#)
- [Log](#)

SECURITY

Set Up (基本設定)

ネットワーク設定やプロファイルの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

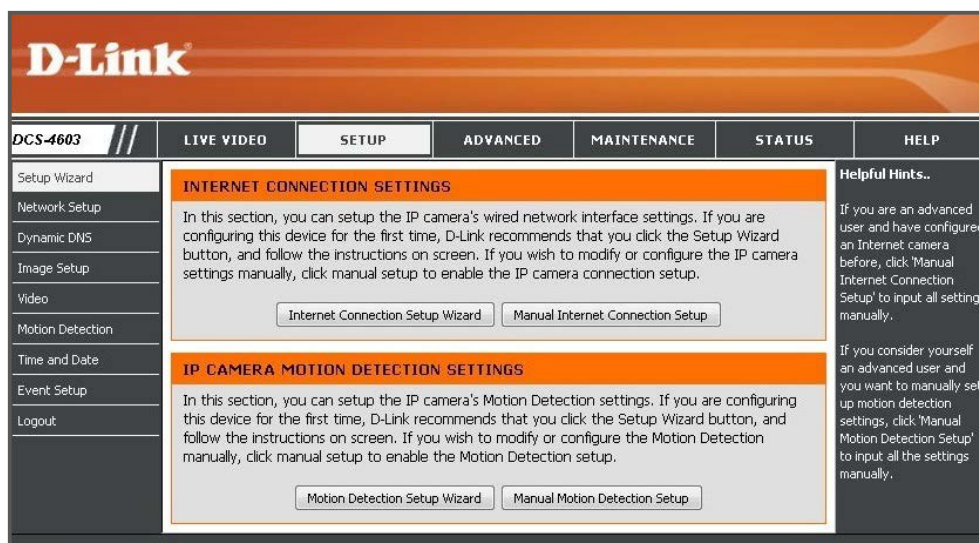
4

■ Setup Wizard	31
インターネット接続設定	31
IPカメラ動体検知設定	33
■ Network Setup	35
LAN設定	36
PPPoE設定	36
HTTP設定	36
HTTPS設定	37
RTSP設定	37
CoS設定	37
QoS設定	37
IPv6設定	38
Multicast設定	38
Bonjour設定	38
■ Dynamic DNS	39
■ Image Setup	40
■ Video	41
■ Motion Detection	43
■ Time and Date	44
■ Event Setup	45
SERVER(サーバ):	45
MEDIA(メディア):	45
EVENT(イベント):	45
RECORDING(録画):	45
SERVER	46
MEDIA	47
EVENT	48
RECORDING	50

Setup Wizard

[SETUP] > [Setup Wizard]

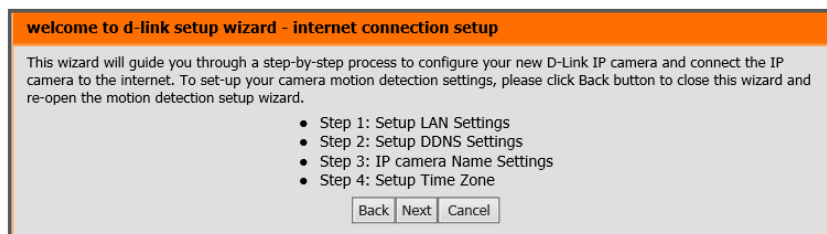
インターネット接続設定と動体検知設定を行います。ウィザードによる設定または手動設定を選択することができます。最初に設定を行う場合は、ウィザードの使用をおすすめします。



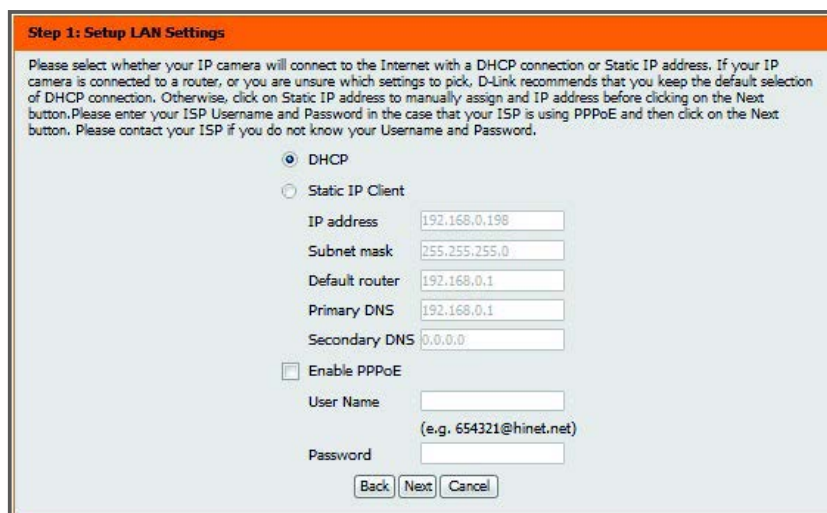
■ インターネット接続設定

◆ ウィザードで設定を行う場合

1. [Internet Connection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. LAN の設定を行った後、[Next] をクリックします。



- DHCP : DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
- Static IP Client : 固定のIPアドレスを設定します。
- Enable PPPoE : PPPoEを有効にします。有効にした場合はユーザ名とパスワードを入力します。

4. ダイナミック DNS の設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 2: Setup DDNS Settings

If you have a Dynamic DNS account and would like the IP camera to update your IP address automatically, enable DDNS and enter in your host information below. Please click on the Next button to continue.

Enable DDNS

Server Address <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout (hours)

- Enable DDNS: ダイナミックDNSを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。
- Server Address: サーバ名を入力します。
- Host Name: ホスト名を入力します。
- User Name: ユーザ名を入力します。
- Password: パスワードを入力します。
- Verify Password: 確認のため再度パスワードを入力します。
- Timeout: タイムアウトする時間を入力します。

5. IP カメラの名称を設定した後、[Next] をクリックします。

Step 3: IP camera Name Settings

D-Link recommends that you rename your IP camera for easy accessibility. You can then identify and connect to your IP camera via this name. Please assign a name of your choice before clicking on the Next button.

IP camera Name

6. タイムゾーンの設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 4: Setup Time Zone

Please configure the correct time to ensure that all events are triggered, captured and scheduled at the correct time and day and then click on the Next button.

Time Zone

Enable Daylight Saving

- Time Zone: タイムゾーンを選択します。
- Enable Daylight Saving: サマータイムを有効にします。

7. 設定内容を確認 → [Apply] をクリックし、設定を適用します。

Step 5: Setup complete

Below is a summary of your IP camera settings. Click on the Back button to review or modify settings or click on the Apply button if all settings are correct. It is recommended to note down these settings in order to access your IP camera on the network or via your web browser.

IP Address	DHCP
IP camera Name	DCS-7010L
Time Zone	(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
DDNS	Disable
PPPoE	Disable

◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Internet Connection Setup]をクリック → Network Setup画面で設定を行います。

メモ

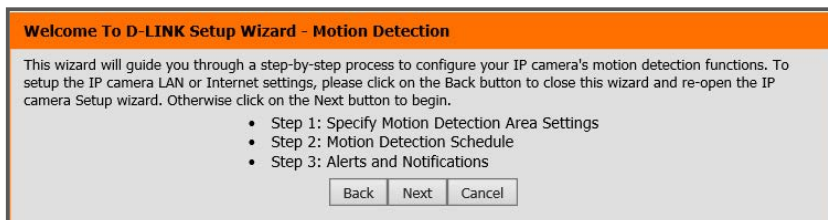
Network Setup画面の設定内容については、『Network Setup:p.35』を参照してください。

■ IPカメラ動体検知設定

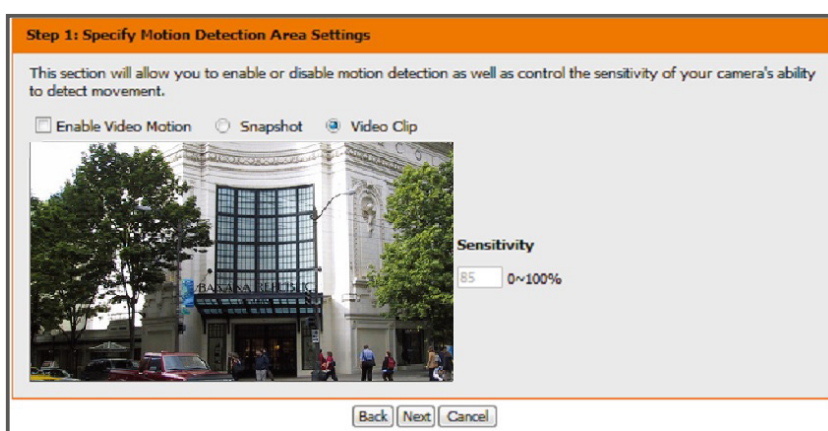
◆ ウィザードで設定を行う場合

[Motion Detection Setup Wizard]をクリックし、画面の説明にしがいます。

1. [Motion Detection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. 動体検知の有効 / 無効と検知の感度を設定→ [Next] をクリックします。

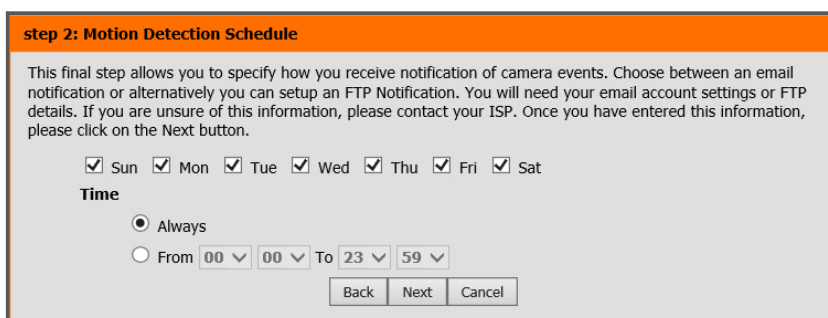


- Enable Video Motion : 動体検知を有効にします。
- Snapshot : スナップショットを作成します。
- Video Clip : ビデオクリップを作成します。
- Sensitivity : 動体検知の感度を設定します。数値が大きいくほど感度がよくなり、動体が検知されやすくなります。

メモ

動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。

4. 動体検知を行うスケジュール設定→ [Next] をクリックします。



5. 通知の設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 3: Alerts and Notification

This final step allows you to specify how you receive notification of camera events. Choose between an email notification or alternatively you can setup an FTP Notification. You will need your email account settings or FTP details. If you are unsure of this information, please contact your ISP. Once you have entered this information, please click on the Next button.

Do not notify me

Email

Sender email address

Recipient email address

Server address

User name

Password

Port

This server requires a secure connection (StartTLS)

FTP

Server address

Port

User name

Password

Remote folder name

- Do not notify me : 通知を行いません。
- Email: E-Mailによる通知を行います。
- FTP: FTPサーバによる通知を行います。

6. 設定内容を確認→ [Apply] をクリックし、設定を適用します。

Step 4: Setup Complete

You have completed your IP camera setup. Please click the Back button if you want to review or modify your settings or click on the Apply button to save and apply your settings.

Motion Detection : Disable

EVENT : Video Clip

Schedule Day : Sun ,Mon ,Tue ,Wed ,Thu ,Fri ,Sat ,

Schedule Time : Always

Alerts and Notification : Do not notify me

7. 設定の保存と再起動が行われます。

Step 4: Setup Complete

You have completed your IP camera setup. Please click the Back button if you want to review or modify your settings or click on the Apply button to save and apply your settings.

Changes saved.IP camera's network is restarting, please wait for 6 seconds ...

◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Motion Detection Setup]をクリック → Motion Detection画面で設定を行います。

メモ

Motion Detection画面の設定内容については、『Motion Detection:p.43』を参照してください。

重要

DNR-312L及びDNR-322Lによる本製品の動体検知設定はサポートされていません。

Network Setup

[\[SETUP\] > \[Network Setup\]](#)

本製品のIPアドレスなど、ネットワークの設定を行います。
設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-4603
LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

NETWORK SETUP

You can configure your LAN and Internet settings here.

LAN SETTINGS

DHCP

Static IP Client

IP address:

Subnet mask:

Default router:

Primary DNS:

Secondary DNS:

Enable UPnP presentation

Enable UPnP port forwarding

Forwarding Port:

Forwarding Status: UPnP forwarding is inactive

PPPOE SETTINGS

Enable Disable

User Name:

Password:

Confirm password:

PPPoE Status: PPPoE is inactive.

HTTP

HTTP port:

Access name for stream1:

Access name for stream2:

HTTPS

HTTPS port:

RTSP

Authentication:

RTSP port:

Access name for stream1:

Access name for stream2:

COS SETTINGS

Enable CoS

VLAN ID: [0~4095]

Live video:

Live audio:

Event/Alarm:

Management:

QoS SETTINGS

Enable QoS

Live video:

Live audio:

Event/Alarm:

Management:

IPv6

Enable IPv6

Manually setup the IP address

Optional IP address / Prefix length: /

Optional default router:

Optional primary DNS:

MULTICAST

Enable multicast for stream 1

Multicast group address:

Multicast video port:

Multicast RTPC video port:

Multicast TTL [1~255]:

Enable multicast for stream 2

Multicast group address:

Multicast video port:

Multicast RTPC video port:

Multicast TTL [1~255]:

BONJOUR SETTINGS

Enable Bonjour

Bonjour Name: 32 characters maximum

(Characters you may use in a Bonjour Name: "upper or lower case letters", "numbers" and "hyphens".)

Helpful Hints..

Select DHCP Connection if you are running a DHCP server on your network and would like an IP address assigned to your IP camera automatically.

UPnP: Enabling UPnP settings will allow you to configure your IP camera as an UPnP device in the network.

PPPoE Setting: If you use the IP camera to connect directly to the Internet, you will need to enter the username and password, which were given to you when you set up your account with your Internet Service Provider. If the camera is behind a router or a gateway, you do not need to configure this setting.

HTTP: HTTP Port is the port you allocate in order to connect to the IP camera via a standard web browser.

HTTPS: HTTPS Port in a IP camera connects it with a PC via a secure web browser.

RTSP: RTSP Port is the port you allocate in order to connect to a IP camera by using streaming mobile device (e.g. such as a mobile phone or PDA).

CoS (Class of Service): Coarsely-grained traffic control based on the L2 protocol. Class of Service technologies do not guarantee a level of service in terms of bandwidth and delivery time, they offer a "best-effort".

QoS (Quality of Service): Finely-grained traffic control, a resource reservation control mechanism. Quality of service guarantees are important if the network capacity is insufficient, especially for real-time streaming multimedia applications.

Enable IPv6: Select this option and click Save to enable IPv6 setting. Please note that this only works if your network environment and hardware equipment support IPv6. The browser should be Microsoft® Internet Explorer 6.5, Mozilla Firefox 3.0 or above. When IPv6 is enabled, by default, the Network Camera will listen to multicast advertisements and be assigned a link-local IPv6 address accordingly.

IPv6 Information: Click this button to obtain the IPv6 information. If your IPv6 setting are successful, the IPv6 address list will be listed in the pop-up window. Please follow the steps below to link to an IPv6 address:
1) Open your web browser.
2) Enter the link-global or link-local IPv6 address in the address bar of your web browser.
3) Press Enter on the keyboard or click Refresh button to refresh the webpage.

Manually setup the IP address: Select this option to manually configure IPv6 setting if your network environment does not have DHCPv6 server and advertisements-enabled routers.

Multicasts: Click the icons to display the detailed configuration information. Select the Always multicast option to enable multicast for stream 1 ~ 3.

Unicast video transmission: delivers a stream through point-to-point transmission; multicast, on the other hand, sets a stream to the multicast group address and allows multiple clients to acquire the stream at the same time by requesting a copy from the

35

● LAN設定

LAN SETTINGS	
<input checked="" type="radio"/> DHCP	
<input type="radio"/> Static IP Client	
IP address	172.16.1.75
Subnet mask	255.255.255.0
Default router	172.16.1.1
Primary DNS	172.16.1.2
Secondary DNS	172.16.1.3
<input checked="" type="checkbox"/> Enable UPnP presentation	
<input type="checkbox"/> Enable UPnP port forwarding	
Forwarding Port	1024 Test
Forwarding Status	UPnP forwarding is inactive

◆ DHCP	DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
◆ Static IP Client	<p>固定のIPアドレスを割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IP address]: IPアドレスを入力します。 • [Subnet mask]: サブネットマスクを入力します。 • [Default router]: デフォルトルータIPアドレスを入力します。 • [Primary DNS]: プライマリDNSサーバを入力します。 • [Secondary DNS]: セカンダリDNSサーバを入力します。
◆ Enable UPnP presentation	有効にすると、本製品がUPnPデバイスとして機能します。
◆ Enable UPnP port forwarding	<p>UPnPポートフォワーディングを有効にします。</p> <p>有効にした場合はポート番号を入力します。[Test]をクリックするとテストを実行します。</p> <p>本製品がUPnP対応のネットワーク上で自動的にルータにポートフォワーディングエントリを追加することができます。</p>

● PPPoE設定

PPPOE SETTINGS	
<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable	
User Name	
Password	
Confirm password	
PPPoE Status	PPPoE is inactive.

◆ Enable/Disable	<p>PPPoE設定を[Enable](有効)または[Disable](無効)にします。</p> <p>有効にした場合は以下の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [User Name]: ユーザ名を入力します。 • [Password]: パスワードを入力します。 • [Confirm password]: 確認のため再度パスワードを入力します。 • [PPPoE Status]: PPPoEのステータスが表示されます。
------------------	---

● HTTP設定

HTTP	
HTTP port	80
Access name for stream1	video1.mjpeg
Access name for stream2	video2.mjpeg

◆ HTTP port	HTTPポート番号を設定します。(初期値:80)
◆ Access name for stream1-2	<p>ストリームのアクセス名を設定します。</p> <p>初期値は「video#.mjpeg」(#はストリームの番号)です。</p>

● HTTPS設定

HTTPS	
HTTPS port	<input type="text" value="443"/>

◆ **HTTPS port** HTTPSポート番号を設定します。(初期値:443)

● RTSP設定

RTSP	
Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
RTSP port	<input type="text" value="554"/>
Access name for stream1	<input type="text" value="live1.sdp"/>
Access name for stream2	<input type="text" value="live2.sdp"/>

◆ **Authentication** 認証方法を選択または無効にします。
 選択肢:
 ・ [Digest] (ダイジェスト認証)
 ・ [Disable] (無効)

◆ **RTSP port** RTSPポート番号を設定します。(初期値:554)

◆ **Access name for stream1-2** ストリームのアクセス名を設定します。
 初期値は「video#.sdp」(#はストリームの番号)です。

● CoS設定

COS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable CoS	
VLAN ID	<input type="text" value="1"/> [0~4095]
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable CoS** CoS (Class of Service) を有効にします。
 ・ [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。
 ・ [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。
 ・ [Live audio]: 音声の優先度を設定します。
 ・ [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。
 ・ [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

● QoS設定

QOS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable QoS	
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable QoS** QoS (Quality of Service) を有効にします。
 ・ [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。
 ・ [Live audio]: 音声の優先度を設定します。
 ・ [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。
 ・ [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

● IPv6設定

IPv6

Enable IPv6

Manually setup the IP address

Optional IP address / Prefix length :: / 64

Optional default router ::

Optional primary DNS ::

◆ Enable IPv6	IPv6を有効にします。
◆ IPv6 Information	IPv6の情報を表示します。
◆ Manually setup the IP address	IPv6アドレスの手動設定を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Optional IP address / Prefix length] • [Optional Default router] • [Optional primary DNS]

● Multicast設定

MULTICAST

Enable multicast for stream 1

Multicast group address 239.1.1.1

Multicast video port 6550

Multicast RTCP video port 6551

Multicast TTL [1~255] 64

Enable multicast for stream 2

Multicast group address 239.1.1.2

Multicast video port 6554

Multicast RTCP video port 6555

Multicast TTL [1~255] 64

◆ Enable multicast for stream 1-2	マルチキャストストリームを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Multicast group address] • [Multicast video port] • [Multicast RTCP video port] • [Multicast TTL [1~255]]
--	--

● Bonjour設定

BONJOUR SETTINGS

Enable Bonjour

Bonjour Name DC5-4603_397B79 32 characters maximum

(Characters you may use in a Bonjour Name: "upper or lower case letters", "numbers" and "hyphens".)

◆ Enable Bonjour	Mac OSでの自動検出を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Bonjour Name]
-------------------------	---

Dynamic DNS

[SETUP] > [Dynamic DNS]

ダイナミックDNS (Dynamic Domain Name Server) の設定を行います。
ダイナミックDNSは、接続のたびに変わるIPアドレスとドメインを自動的に結びつける機能です。IPアドレスが変更されても、ドメイン名を入力してIPカメラに接続することができます。接続には設定したユーザ名とパスワードが必要となります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

The screenshot shows the D-Link web interface for the DCS-4603 camera. The 'SETUP' tab is selected, and the 'DYNAMIC DNS' section is active. The page includes a navigation menu on the left, a main content area with a description and settings, and a 'Helpful Hints..' sidebar on the right.

DYNAMIC DNS

The Dynamic DNS feature allows you to use a domain name that you have purchased (www.yourdomain.com) to access your IP camera with a dynamically assigned IP address. Most broadband Internet service providers assign dynamic (changing) IP addresses. By using a DDNS service, you can enter your domain name to connect to your IP camera no matter what your IP address is.

[Sign up for D-Link's Free DDNS service at www.DLinkDDNS.com.](http://www.DLinkDDNS.com)

[Save Settings] [Don't Save Settings]

DYNAMIC DNS SETTING

Enable DDNS

Server Address <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout (hours)

Status Inactive

[Save Settings] [Don't Save Settings]

Helpful Hints..

Dynamic DNS is useful if you have a DSL or Cable service provider that changes your modem IP address periodically. This will allow you to assign a website domain name to your IP camera instead of connecting through an IP address.

DYNAMIC DNS SETTING

◆ Enable DDNS	ダイナミックDNSを有効にします。
◆ Server Address	ダイナミックDNSプロバイダを選択するか、手動でサーバのアドレスを入力します。
◆ Host Name	ホスト名を入力します。
◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ Password	パスワードを入力します。
◆ Verify Password	確認のため再度パスワードを入力します。
◆ Timeout	タイムアウトする時間を入力します。
◆ Status	ダイナミックDNSの状態が表示されます。

Image Setup

[SETUP] > [Image Setup]

プライバシーマスク設定および画像設定を行います。

プライバシーマスクは、撮影したくないエリアを選択してマスクする機能です。画像設定では、ホワイトバランスや露出、鮮明度の設定を行い、画質の調整をすることができます。[IMAGE SETTINGS]欄で設定した内容はすぐに反映されます。

PRIVACY MASK AREA OF VIDEO SETTING

◆ Enable Privacy Mask Setting

プライバシーマスクを有効にします。有効にした場合は、画像上でマスクしたい部分を最大3箇所選択します。

左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。

画像内でマウスを右クリックすると、[Disable all][Enable all][Reset all]の動作を選択できます。

設定後、[Save]をクリックして設定を保存します。

IMAGE SETTING

◆ Mirror	画像を180度水平方向に回転させます。
◆ Flip	画像を180度垂直方向に回転させます。
◆ Anti Flicker	電源周波数 (50Hz/60Hz) による画像のちらつきを除去します。
◆ White Balance	撮影環境にあわせて色調の調節を行います。 [Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Fluorescent](蛍光灯)
◆ Exposure Mode	撮影環境に合わせた露出モードを以下から選択し、画像センサーに入る光量を調整します。 [Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Night](夜間) / [Moving](動体) / [Low_noise](低ノイズ) / [Customize1-3](カスタマイズ1-3) カスタマイズ設定を選択した場合は、シャッタースピードを設定します。
◆ Max Gain	最大ゲイン値を設定します。
◆ Denoise	ノイズを軽減します。
◆ Brightness	明るさを調整し、逆光を補正します。
◆ Contrast	曇天下での画質を改善します。
◆ Saturation	色の彩度を調整します。
◆ Sharpness	画像の鮮明さを調整します。

◆ WDR Level	逆光など、明暗差の大きい映像を補正します。WDRレベルが大きいほど、暗い部分の視認性が高くなります。
◆ 3D filter	低照度の環境でノイズを低減します。

Video

[SETUP] > [Video]

ビデオプロファイルの設定を行います。

設定したプロファイルはLive Video画面で選択・表示することができます。

本製品では2つのプロファイルを設定することができます。PCやスマートフォンなど、閲覧する環境に適したサイズを設定してください。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Video
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
Logout

VIDEO

This section allows you to configure the sound and video of your camera. You can configure different settings depending on whether you are viewing content from a PC or a Mobile Phone / PDA.

Save Settings Don't Save Settings

VIDEO SETTINGS

Aspect ratio **16:9** **Warning:** Change the aspect ratio will clear the settings of privacy mask and preset and motion detection.

Save Default

VIDEO PROFILE 1

Mode **H264**
Frame size **1920x1080**
Maximum frame rate **30**
Video quality
Constant bit rate **1M**
Fixed quality Excellent

VIDEO PROFILE 2

Mode **H264**
Frame size **1280x720**
Maximum frame rate **30**
Video quality
Constant bit rate **1M**
Fixed quality Excellent

Save

Helpful Hints..

Higher frame size, frame rate and bit rate gives better video quality. At the same time, it requires more network bandwidth.

For best viewing results on a mobile phone, we suggest setting the Frame Rate to 5fps and the Bit Rate to 64 kbps.

Aspect Ratio: An aspect ratio is the ratio between the width and height of an image.

Mode: It can be H.264 or JPEG. In JPEG mode, the video frames are independent; H.264 can use less bandwidth but better image quality.

Frame Size: 4 options exist for the sizes of the video display. It is recommended using 640x360 for mobile viewing and 1920x1080 for computer viewing.

Max frame rate: The maximum number of frames that is displayed in 1 second. 30fps is the highest video quality for this camera. In general, any frame rate above 15 fps is imperceptible to the human eye.

Video Quality: This limits the maximal refresh frame rate, which can be combined with the "Fixed"

メモ

[Frame size]の縦横比は以下のとおりです。

- 16:9
1920 x 1080, 1280 x 720, 800 x 448, 640 x 360
- 4:3
2048 x 1536, 1440 x 1080, 1280 x 960, 900 x 720, 800 x 592, 640 x 480

VIDEO SETTINGS	
◆ Aspect ratio	画面アスペクト比を[16:9]または[4:3]から選択し、[Save]をクリックします。 設定を初期状態に戻すには[Default]をクリックします。
VIDEO PROFILE 1-2	
◆ Mode	画像のフォーマットを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [JPEG]: 画像をJPEG方式で圧縮します。 • [H.264]: 画質を損なうことなくデータサイズとビットレートを抑えることが可能な効率のよい圧縮技術です。MPEGよりさらに少ない帯域で高品質な画質を保持できます。
◆ Frame size	画像のフレームサイズを設定します。
◆ Maximum frame rate	最大フレームレートを設定します。 設定値が高いほどよりなめらかな動きの映像が提供されますが、多くの帯域幅を必要とします。
◆ Video quality	画質を設定します。 [Fixed Quality]を選択すると、画質を優先し、それに応じた帯域幅が使用されます。 帯域幅使用率を固定したい場合は、[Constant bit rate]でビットレートを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • [Constant bit rate]: ビットレートを選択します。数値が高いほど高画質になります。 • [Fixed Quality]: 画質を[Excellent][Good][Standard]から選択します。

重要

- 画面アスペクト比の設定を変更すると、プライバシーマスク、動体検知の設定内容がクリアされます。
- フレームレートとビットレートの数値を高く設定すると高画質の映像が提供されますが、より多くの帯域幅が消費されます。

Motion Detection

[SETUP] > [Motion Detection]

動体検知とは、映像内の動きを検知する機能です。
検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することもできます。

Motion Detection画面では、動体検知の有効/無効を設定し、検知を行うエリアと感度を設定します。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

LIVE VIDEO

◆ Enable Video Motion	動体検知を有効にします。 有効にした場合は、下の画面で検知を行うエリアを選択します。
◆ Sensitivity	動体検知を行う感度を0-100%の間で設定します。 設定した数値が大きいほど感度がよくなり、動体が検出されやすくなります。
◆ Clear all	指定されたエリアをすべて削除します。
◆ Restore all	保存されている設定に戻します。
◆ Select all	全画面を選択します。

メモ

- 動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore All]の動作を選択できます。
- 動体を検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することができます。
詳細および設定方法については『[Event Setup:p.45](#)』を参照してください。

重要

DNR-312L及びDNR-322Lによる本製品の動体検知設定はサポートされていません。

Time and Date

[\[SETUP\] > \[Time and Date\]](#)

本製品の日時設定、およびサマータイムの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

TIME CONFIGURATION

◆ Time Zone	お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定します。
◆ Enable Daylight Saving	サマータイムを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> [Auto Daylight Saving]: 自動でサマータイムを実行します。 [Set date and time manually]: 以下の項目を入力し、手動でサマータイムを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [Offset]: サマータイムの実施により調整する時間を選択します。 - [Start Time]: サマータイムを開始する日時を選択します。 - [End Time]: サマータイムを終了する日時を選択します。
AUTOMATIC TIME CONFIGURATION	
◆ Synchronize with NTP Server	NTPサーバと同期して時間設定を行います。 有効にした場合は同期するNTPサーバを設定してください。
SET DATE AND TIME MANUALLY	
◆ Set date and time manually	手動で日時を設定します。 有効にした場合は、日時を選択してください。
◆ Copy Your Computer's Time Settings	お使いのコンピュータに設定されている日時をコピーします。

Event Setup

[\[SETUP\] > \[Event Setup\]](#)

イベントの発生条件とイベントの内容を設定します。

例:「動体検知が発生」(イベントの発生条件)した場合には、「FTPサーバへ画像を送信する」(イベントの内容)

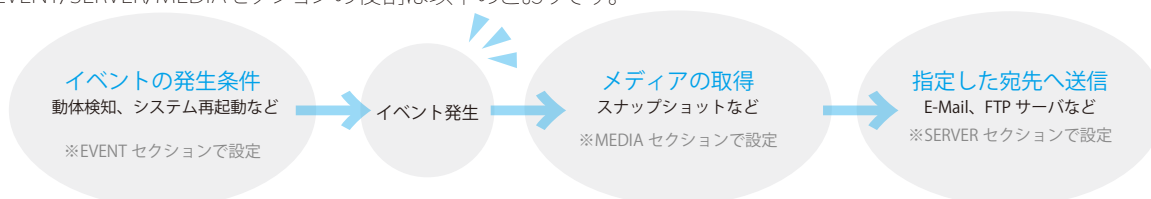
The screenshot shows the D-Link DCS-7010L web interface. The top navigation bar includes 'LIVE VIDEO', 'SETUP', 'ADVANCED', 'MAINTENANCE', 'STATUS', and 'HELP'. The 'SETUP' tab is selected, and the 'EVENT SETUP' page is displayed. The page contains four main sections: SERVER, MEDIA, EVENT, and RECORDING. Each section has an 'Add' button and a 'Delete' button. A 'Helpful Hints...' sidebar is visible on the right.

以下の4つのセクションで設定を行います。「Add」をクリックすると各セクションの設定ウィンドウが表示されます。

- **SERVER(サーバ):**
イベントが発生した際に、取得した画像・ビデオクリップなどのメディアを送信する宛先を設定します。
- **MEDIA(メディア):**
イベントが発生した際に、どのメディアで記録を行うかを設定します。
- **EVENT(イベント):**
イベントの発生条件(動体検知など)を設定します。
ここで設定した動作が発生すると、MEDIAで設定した形式の記録がSERVERで設定した宛先へ送信されます。
- **RECORDING(録画):**
スケジュールを設定して録画を実行します。

メモ

- 各セクションで追加できる最大設定数は以下の通りです。
サーバ:5/メディア:5/イベント:3/録画:2
- EVENT/SERVER/MEDIAセクションの役割は以下のとおりです。



SERVER

SERVERセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。異なるイベントに対して5つの異なるサーバを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

SERVER TYPE

◆ Server Name	サーバ名を入力します。
◆ Email	E-mailサーバへメディアを送信する場合に選択し、E-Mailサーバアカウントの情報を入力します。
◆ FTP	FTPサーバへメディアを送信する場合に選択し、FTPサーバアカウントの情報を入力します。
◆ Network storage	ネットワーク上のストレージへメディアを送信する場合に選択し、必要項目を入力します。

メモ

[Test]をクリックするとテストを行うことができます。

MEDIA

MEDIAセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
異なるイベントに対して5つの異なるメディアを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

MEDIA TYPE	
◆ Media name	メディア名を入力します。
◆ Snapshot	<p>イベントが発生した際にスナップショットを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Source] プロファイルを選択します。 • [Send XX pre-event image(s) [0~4]][Send XX post-event image(s) [0~7]] イベント発生の前後に取得するスナップショット数を設定します。 • [File Name Prefix] 取得したスナップショットにつけるファイル名を設定します。 • [Add date and time suffix to file name] ファイル名に日時を追加します。
◆ Video Clip	<p>イベントが発生した際にビデオクリップを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Source] プロファイルを選択します。 • [Pre-event recording: XX Second(s) [0~3]] イベント発生の前後に取得するビデオクリップの秒数を設定します。 • [Maximum duration: XX Second(s) [1~100]] ビデオクリップを取得する最大秒数を設定します。 • [Maximum file size: XX Kbytes [300~5000]] 取得するビデオクリップの最大ファイルサイズを設定します。 • [File Name Prefix] 取得したビデオクリップにつけるファイル名を設定します。
◆ System Log	イベントが発生した際にシステムログを取得します。

EVENT

EVENTセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
最大3つのイベントを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Video
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
Logout

EVENT

You can set at most 3 events like motion detection or digital input trigger here and arrange the detection schedule at the same time.

Save Settings Don't Save Settings

EVENT

Event name: Motion detection

Enable this event

Priority: normal

Delay for 10 seconds before detecting next event [For motion detection]

TRIGGER

Video motion detection

Periodic
Trigger every 1 minutes

System boot

Network lost

EVENT SCHEDULE

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

Time

Always

From 00 00 To 23 59

ACTION

My FTP

Attached media: Snapshots

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

Priority: The event with higher priority will be executed first.

There are five kinds of trigger supported.

Video motion detection: Select the windows which need to be monitored.

Periodic: The event is triggered in specified intervals. The unit of trigger interval is minute.

System boot: The event is triggered when the system boot up.

Network lost: The event is Triggered when the network service is not available or disconnection.

Sun ~ Sat: Select the days of the week to perform the event.

Time: show "Always" or input the time interval.

SECURITY

EVENT	
◆ Event name	イベント名を入力します。
◆ Enable this event	イベントを有効にします。
◆ Priority	イベントの優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ Delay for XX seconds before detecting next event [For motion detection]	次のイベントを検出する前の遅延時間 (秒) を設定します。 対象となるイベントは動体検知です。
TRIGGER	
◆ Video motion detection	動体検知が行われた際にイベントが発生します。
◆ Periodic	定期的にイベントが発生します。 • [Trigger every XX minutes]: 発生間隔を設定します。
◆ System boot	システムが起動した際にイベントが発生します。
EVENT SCHEDULE	
◆ Sun - Sat	イベントを実行する曜日を選択します。
◆ Time	イベントを実行する時間を設定します。 • [Always]: 常に録画を行います。 • [From][To]: イベントを実行する時間を選択します。
ACTION	
◆ <server>	SERVER/MEDIAセクションで設定したサーバ名、メディア名が表示されます。送信先のサーバと送信するメディアを指定します。 • [Attached media]: メディアを選択します。

RECORDING

RECORDINGセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。録画を行うスケジュールや録画のデータサイズなどを設定できます。最大2つの録画設定を保存することができます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

RECORDING

◆ Recording entry name	録画名を入力します。
◆ Enable this recording	録画を有効にします。
◆ Priority	録画の優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ Source	録画を行うプロファイルを選択します。

RECORDING SCHEDULE

◆ Sun - Sat	録画を実行する曜日を選択します。
◆ Time	録画を実行する時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Always]: 常に録画を行います。 • [From][To]: 録画を実行する時間を選択します。

RECORDING SETTINGS

◆ Destination	録画したファイルの保存先を選択します。
◆ Total cycling recording size	メディア上で録画に使用できるストレージの最大量を入力してください。ファイルは繰り返しストレージに書き込まれます。必要に応じて、古いファイルは上書きされます。
◆ Size of each file for recording	各録画ファイルのデータサイズを設定します。
◆ Time of each file for recording	各録画ファイルの時間(秒)を設定します。
◆ File Name Prefix	取得した録画データにつけるファイル名を設定します。

Advanced (詳細設定)

デジタル入出力、ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

5

■ ICR and IR.....	52
■ HTTPS.....	53
■ Access List.....	54
■ SNMP.....	55

ICR and IR

[ADVANCED] > [ICR and IR]

本項目ではICRとIRの設定を行います。

ICR(IR Cut Removable／赤外線・カット・リムーバブル)フィルタは、赤外線をカットする機能です。夜間モードではフィルタが有効、昼間モードではフィルタが無効となります。撮影環境に応じてフィルタを有効／無効にすることにより、実物に近い色彩の画像を取得することができます。IR LIGHT欄では、IR(赤外線)LEDの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

ICR AND IR

An IR(Infrared) Cut-Removable(ICR) filter can be disengaged from the image path for increased sensitivity in low light environments. The ICR filter will automatically engage depending on the ambient light, allowing the camera to be effective in day/night environments.

1. Select the Day/Night from the radio button. The available options are Automatic, Schedule mode, Day mode and Night mode.
2. The default value is Automatic.

Light Sensor Sensitivity
Light sensor sensitivity has Low, Medium, and High three different levels. You may get current camera light illumination by clicking Refresh button to set proper level of Light sensor sensitivity. For example, when level sets at High less than 30lux, camera will switch Day & Night mode to Night mode.

IR Light
The built-in IR light illuminators will be activated automatically or manually so as to supplement the low light situation without additional equipment.

Save Settings Don't Save Settings

ICR

Removable IR-Cut filter trigger condition:

Automatic Sensitivity Medium:<20lux over 30 lux Refresh

Day mode

Night mode

Schedule mode

Day mode(24hr)
From 00 00 To 23 59

IR LIGHT

IR Light Control Highest

Off

On

Sync. With ICR

Schedule

IR Light Control On(24hr)
From 00 00 To 23 59

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

ICR and IR:

Automatic: The day/Night mode is set automatically. It is normally set in the Day mode and changes to the Night mode in a dark place.

Day mode: The Day mode means disable the IR Cut Filter.

Night mode: The Night mode means enable the IR Cut Filter.

Schedule mode: Set the Day/Night mode using the schedule. Fill in the time so the Day/Night mode is normally set to Day mode and it enters the Day mode at the start time and returns to the Night mode at the end time.

IR Light Control:
In poor light conditions, open IR Light Control to automatically turn on the light to enable you to take clear picture. The IR Light Control has 4 options: Off, On, Sync. with ICR, and Schedule. Off: This option disable the IR Light Control. On: This option automatically opens the IR Light Control to enable a camera to take clear images in poor light conditions. Sync. with ICR: In this option, the IR Light Control will open automatically and follow the ICR setting. Schedule: In this option, you have to customize the setting to set the time period you want. Please set the Start time and the End time of your chosen schedule.

ICR

◆ Automatic	ICRフィルタの動作モードを自動的に昼間モードから夜間モードに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Sensitivity]: 動作モードを夜間モードに切り替える光量の閾値(単位:lux)を設定します。右側のテキストボックスには、現在の映像の照度(lux値)が参考値として示されます。[Refresh]ボタンをクリックすると、ステータスを更新します。
◆ Day mode	昼間モードを選択します。昼間モードではICRフィルタが有効になります。
◆ Night mode	夜間モードを選択します。夜間モードではICRフィルタが無効になります。
◆ Schedule mode	スケジュールモードを選択します。設定したスケジュールに従い、昼間モードに切り替わります。

IR LIGHT

◆ IR Light Control	赤外線LEDの照度を選択します。 [Highest]を選択すると、最も明るく赤外線LEDが点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択肢: [Highest][High] [Medium][Low][Lowest]
◆ Off	赤外線LEDを常にオフにします。
◆ On	赤外線LEDを常にオンにします。
◆ Sync. With ICR	ICRの設定と同期して、赤外線LEDのオン/オフを行います。
◆ Schedule	設定したスケジュールに従って赤外線LEDのオン/オフを行います。

HTTPS

[\[SETUP\] > \[HTTPS\]](#)

HTTPSの設定を行います。
HTTPSを使用すると、SSL/TLSによる暗号化でHTTP通信を安全に行うことができます。
有効にするには、証明書の作成とインストールを行う必要があります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

The screenshot shows the D-Link web interface for the DCS-4603 device. The 'ADVANCED' tab is selected, and the 'HTTPS' configuration page is displayed. The page has a header with the D-Link logo and a navigation menu with options like LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS, and HELP. On the left, there is a sidebar with links for ICR and IR, HTTPS, Access List, SNMP, and Logout. The main content area is divided into sections: a top instruction box, a 'HTTPS' section with a checkbox for 'Enable HTTPS secure connection' and radio buttons for 'Create certificate method' (automatically, manually, or request and install), and a 'CERTIFICATE INFORMATION' section showing details like Status (Active), Country (TW), State or province (Taiwan), Locality (Taipei), Organization (D-Link), Organization Unit (DHPD Dept.), and Common Name (www.dlink.com). There are 'Save Settings' and 'Don't Save Settings' buttons at the bottom of the main content area.

HTTPS

◆ Enable HTTPS secure connection	HTTPSセキュア接続を有効にします。
◆ Create certificate method	証明書の作成方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Create self-signed certificate automatically]: 自己署名証明書を自動で作成します。 • [Create self-signed certificate manually]: 自己署名証明書を手動で作成します。 • [Create certificate request and install]: 証明書のリクエストとインストールを行います。
◆ Create certificate	[Create]をクリックし、証明書を作成します。
CERTIFICATE INFORMATION	
証明書の情報が表示されます。	
◆ CSR Property	CSRのプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Certificate Property	証明書のプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Remove	証明書を削除します。

メモ

HTTPSが有効になっている場合は、証明書を削除できません。
証明書を削除する場合はHTTPSを無効にしてください。

Access List

[\[ADVANCED\]](#) > [\[Access List\]](#)

本製品へのアクセスを許可／拒否するIPアドレスを設定します。

ALLOW LIST

◆ Start IP address	接続を許可するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ End IP Address	接続を許可するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ Delete allow list	許可リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

DENY LIST

◆ Start IP address	接続を拒否するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ End IP Address	接続を拒否するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ Delete deny list	拒否リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

重要

許可リストの最初のエントリには、管理者が使用するコンピュータのIPアドレスが含まれるようにしてください。

メモ

許可リストと拒否リストの範囲が重複した場合は、拒否リストの設定内容が優先されます。

例)

許可リスト: 1.1.1.0 - 192.255.255.255、拒否リスト: 1.1.1.0 - 170.255.25の場合
→ 171.0.0.0 - 192.255.255.255のIPアドレスを持つユーザのみがカメラにアクセスできます。

SNMP

[ADVANCED] > [SNMP]

SNMPの設定を行います。

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

ICR and IR
HTTPS
Access List
SNMP
Logout

SNMP

The Simple Network Management Protocol is an application layer protocol that facilitates the exchange of management information between network devices. It helps network administrators to remotely manage network devices and find, solve network problems with ease.

Save Settings Don't Save Settings

SNMP CONFIGURATION

Enable SNMPv1, SNMPv2c

Read/Write community: public

Read only community: private

Enable SNMPv3

Read/Write Security name: public

Authentication type: MD5

Authentication password: [input field]

Encryption password: [input field]

Read only security name: private

Authentication type: MD5

Authentication password: [input field]

Encryption password: [input field]

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

Enable SNMPv1, SNMPv2c: Select this option and enter the names of Read/Write community and Read Only community according to your NMS setting.

Enable SNMPv3: This option contains cryptographic security, a higher security level which allows you to set the Authentication password and the Encryption password.

Security name: According to your NMS setting, choose Read/Write or Read Only and enter the community name.

Authentication type: Select MD5 or SHA as the authentication method.

Authentication password: Enter the password for authentication (at least 8 characters).

Encryption password: Enter a password for encryption (at least 8 characters).

SNMP CONFIGURATION

◆ Enable SNMPv1, SNMPv2c

SNMPv1、SNMPv2cを有効にします。
有効にした場合は以下の項目を入力します。

- [Read/Write community]:
Read/Writeコミュニティの名称を入力します。
- [Read Only Community]:
Read Onlyコミュニティの名称を入力します。

◆ Enable SNMPv3

SNMPv3を有効にします。
有効にした場合は以下の項目を入力します。

- [Read/Write Security name]:
Read/Writeセキュリティの名称を入力します。
- [Authentication type]:
Read/Writeセキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。
- [Authentication password]:
Read/Writeセキュリティの認証パスワードを入力します。
- [Encryption password]:
Read/Writeセキュリティの暗号化パスワードを入力します。
- [Read only Security name]:
Read only セキュリティの名称を入力します。
- [Authentication type]:
Read only セキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。
- [Authentication password]:
Read only セキュリティの認証パスワードを入力します。
- [Encryption password]:
Read only セキュリティの暗号化パスワードを入力します。

Maintenance(メンテナンス)

6

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

■ Admin.....	57
■ System	59
■ Firmware Upgrade.....	60

Admin

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Admin\]](#)

本製品にアクセスするユーザアカウントの設定や、デバイス名の設定などを行います。

D-Link	
DCS-4603	LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP
Admin System Firmware Upgrade Logout	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">ADMIN</div> <p>Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.</p> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">ADMIN PASSWORD SETTING</div> <p>New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Save"/></p> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">ADD USER ACCOUNT</div> <p>User Name <input type="text"/> 5 users maximum New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Add"/></p> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">USER LIST</div> <p>User Name <input type="text" value="-- User list --"/> <input type="button" value="Delete"/></p> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">DEVICE SETTING</div> <p>IP Camera Name <input type="text" value="DCS-4603"/> 16 characters maximum <input checked="" type="checkbox"/> Enable OSD Label <input type="text" value="DCS-4603"/> 16 characters maximum <input type="button" value="Save"/></p> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">LED</div> <p>LED <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off <input type="button" value="Save"/></p>
	Helpful Hints.. Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user. For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten. LED: In the near panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.

ADMIN PASSWORD SETTING

Web GUI にログインする管理者パスワードを設定します。
以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ New Password	パスワードを入力します。
◆ Retype Password	確認のため再度パスワードを入力します。

ADD USER ACCOUNT

Web GUI にログインするユーザアカウントを追加します。以下の項目を入力後、[Add]をクリックしてアカウントを追加します。

◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ New Password	パスワードを入力します。
◆ Retype Password	確認のため再度パスワードを入力します。

USER LIST

Web GUI にログインするユーザアカウントを削除します。ユーザ名を選択後、[Delete]をクリックしてアカウントを削除します。

◆ User Name	削除するユーザを選択します。
--------------------	----------------

DEVICE SETTING

IPカメラのデバイス名およびOSD(On-Screen Display)の設定を行います。以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ IP camera Name	IPカメラ名を入力します。
◆ Enable OSD	OSD機能を有効にします。有効にすると、映像にラベル名や時刻を表示することができます。 ・ [Label]: ラベル名を入力します。

LED

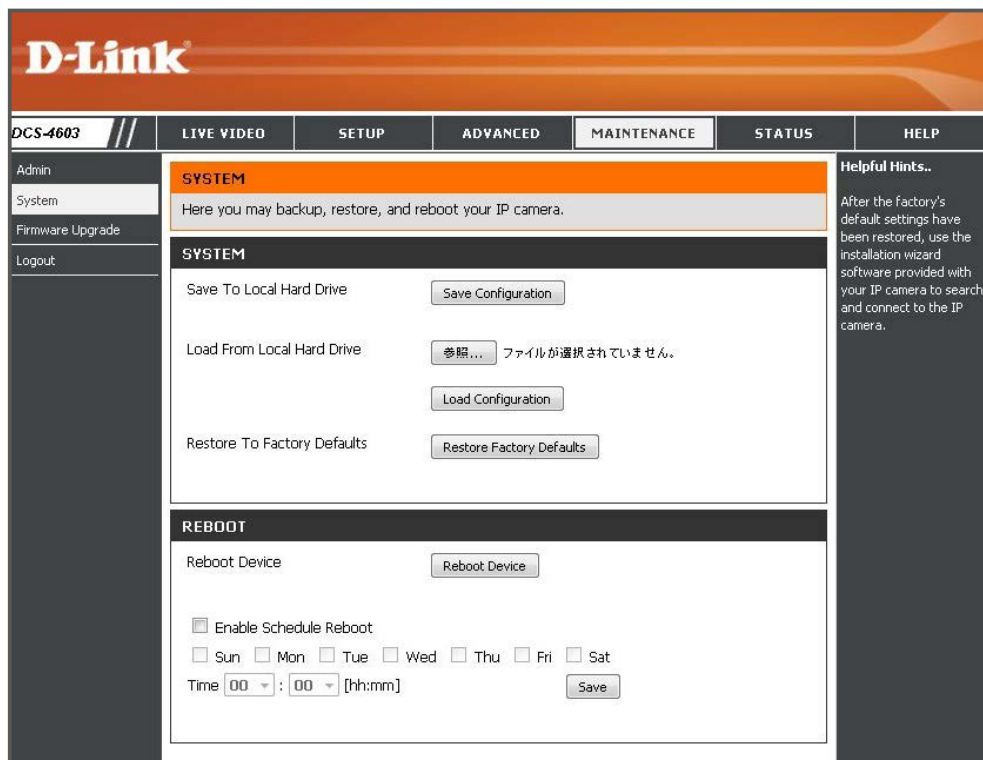
IPカメラのLEDのON/OFFを切り替えます。選択後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ ON / OFF	[On]または[Off]を選択します。
-------------------	---------------------

System

[MAINTENANCE] > [System]

設定のバックアップ、リストア、初期設定へのリセットを行います。
また、本製品をリポートすることもできます。リポートは設定したスケジュールにしたがって行うことも可能です。



SYSTEM

◆ Save To Local Hard Drive	[Save Configuration]をクリックし、ローカルハードドライブへ設定を保存します。
◆ Load From Local Hard Drive	ローカルハードドライブから設定を読み込みます。 ①[参照]をクリックして設定ファイルを選択します。 ②[Load Configuration]をクリックして設定を読み込みます。
◆ Restore To Factory Defaults	[Restore Factory Defaults]をクリックし、設定を工場出荷時の状態にリセットします。

REBOOT

◆ Reboot Device	[Reboot Device]をクリックし、本製品をリポートします。
◆ Enable Schedule Reboot	設定したスケジュールにしたがって本製品のレポートを行います。 ①[Sun]-[Sat]からレポートを行う曜日を選択します。 ②[Time]でレポートを行う時刻を設定します。 ③[Save] をクリックして設定を保存します。

Firmware Upgrade

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Firmware Upgrade\]](#)

ファームウェアのアップグレードを行います。

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED **MAINTENANCE** STATUS HELP

Admin
System
Firmware Upgrade
Logout

FIRMWARE UPGRADE

A new firmware upgrade may be available for your IP camera. It is recommended to keep your IP camera firmware up-to-date to maintain and improve the functionality and performance of your internet IP camera. Click here [D-Link Support Page](#) to check for the latest firmware version available.

To upgrade the firmware on your IP camera, please download and save the latest firmware version from the D-Link Support Page to your local hard drive. Locate the file on your local hard drive by clicking the Browse button. Once you have found and opened the file using the browse button, click the "Upload" button to start the firmware upgrade.

FIRMWARE INFORMATION

Current Firmware Version: 1.01.00
Current Product Name: DCS-4603

FIRMWARE UPGRADE

File Path: ファイルが選択されていません。

Helpful Hints..

Firmware upgrade are released periodically to improve the functionality of your IP camera and also to add new features. If you run into a problem with a specific feature of the IP camera, check our support site by clicking [here](#) to check for an upgrade and see if updated firmware is available for your IP camera.

FIRMWARE INFORMATION

現在のファームウェアバージョンが表示されます。

FIRMWARE UPGRADE

ファームウェアアップグレードを行います。

◆ File Path:

- ①[参照]をクリックしてファームウェアを選択します。
- ②[Upload]をクリックしてファームウェアをアップロードします。
- ③アップロードの進捗状況を示す画面が表示されます。完了までそのままお待ちください。

重要

ファームウェアアップグレードが完了するまでそのままお待ちください。

Status(ステータス)

7

カメラのデバイス情報とログを表示します。

■ Device Info	62
■ Log	63

Device Info

[\[STATUS\]](#) > [\[Device Info\]](#)

IPカメラ名やIPアドレス、ファームウェアバージョンなど、デバイスの情報が表示されます。

The screenshot shows the D-Link DCS-4603 web interface. The top navigation bar includes 'LIVE VIDEO', 'SETUP', 'ADVANCED', 'MAINTENANCE', 'STATUS', and 'HELP'. The 'STATUS' tab is active. On the left sidebar, 'Device Info' is selected. The main content area is titled 'DEVICE INFO' and contains a message: 'All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.' Below this is an 'INFORMATION' table with the following data:

INFORMATION	
IP Camera Name	DCS-4603
Time & Date	Fri Jan 2 4:12:38 2000
Firmware Version	1.01.00
Hardware Version	A
MAC Address	B0:C5:54:39:7B:79
IP Address	192.168.0.20
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.20
Primary DNS	0.0.0.0
Secondary DNS	0.0.0.0
PPPoE	Disable
DDNS	Disable

On the right side, there is a 'Helpful Hints..' section with the text: 'This page displays all the information about the IP camera and network settings.'

Log

IPカメラの動作のログを確認できます。

[\[STATUS\]](#) > [\[Log\]](#)

D-Link

DCS-4603 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Device Info
Log
Logout

SYSTEM LOG
The system log records IP camera events that have occurred.

Helpful Hints..
You can save the log to your local hard IP camera by clicking the Download button, and you can clear the log by clicking on the Clear button.

CURRENT LOG

- 2000/01/02 04:07:58 admin login Ok from 192.168.0.100
- 2000/01/02 03:59:26 admin login Ok from 192.168.0.100
- 2000/01/02 03:56:04 Event recover - netloss detection.
- 2000/01/02 03:55:57 Event trigger - netloss detection.
- 2034/01/02 03:55:46 system power on.
- 2000/01/01 08:22:35 Event trigger - netloss detection.
- 2000/01/01 08:21:55 admin login Ok from 192.168.0.100
- 2000/01/01 08:14:23 system change admin password.
- 2000/01/01 08:13:04 admin login Ok from 192.168.0.100
- 2000/01/01 08:01:14 Event recover - netloss detection.
- 2000/01/01 08:00:28 Event trigger - netloss detection.
- 2034/01/01 08:00:17 system power on.
- 2017/03/31 11:45:11 detects anti-brute force attacking.
- 2017/03/31 11:44:19 Event recover - netloss detection.
- 2017/03/31 11:44:12 Event trigger - netloss detection.
- 2017/03/31 11:44:06 system power on.
- 2017/03/31 11:43:49 system reset to factory settings.
- 2017/03/31 11:38:06 admin login Ok from 192.168.253.49
- 2017/03/31 11:37:39 Event recover - netloss detection.
- 2017/03/31 11:37:31 Event trigger - netloss detection.

First Page Previous 20 Next 20
Clear Download

CURRENT LOG

◆ First Page	最新のログを20件表示します。
◆ Previous 20	前のログを20件表示します。
◆ Next 20	次のログを20件表示します。
◆ Clear	ログを消去します。
◆ Download	ログをtxt形式でダウンロードします。

付録

8

工場出荷時状態へのリセットとよくあるご質問について記載しています。

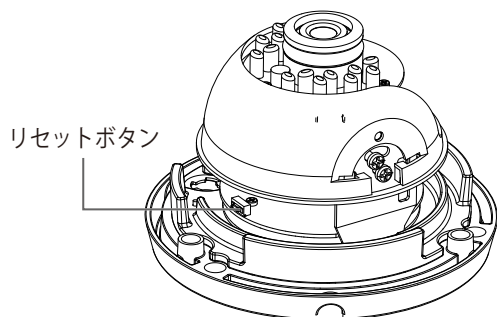
■ 工場出荷時設定に戻す	65
リセットボタンを使用する場合	65
Web GUIからリセットする場合	65
■ FAQ	66

工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時状態へリセットする方法について説明します。

■ リセットボタンを使用する場合

本製品のリセットボタンを10秒間押ししてください。



■ Web GUIからリセットする場合

[MAINTENANCE] > [System]

以下の画面で[Restore Factory Defaults]をクリックします。

The screenshot shows the D-Link Web GUI interface. At the top, the D-Link logo is visible. Below it, a navigation bar includes 'DCS-4603', 'LIVE VIDEO', 'SETUP', 'ADVANCED', 'MAINTENANCE', 'STATUS', and 'HELP'. The 'MAINTENANCE' tab is selected. On the left, a sidebar menu lists 'Admin', 'System', 'Firmware Upgrade', and 'Logout'. The main content area is titled 'SYSTEM' and contains the following options:

- Save To Local Hard Drive**: Includes a 'Save Configuration' button.
- Load From Local Hard Drive**: Includes a '参照...' button with the message 'ファイルが選択されていません。' and a 'Load Configuration' button.
- Restore To Factory Defaults**: Includes a 'Restore Factory Defaults' button.

Below the SYSTEM section is the 'REBOOT' section, which includes a 'Reboot Device' button, an 'Enable Schedule Reboot' checkbox, and radio buttons for days of the week (Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat). A 'Time' field with dropdown menus for hours and minutes is also present, along with a 'Save' button.

On the right side of the page, there is a 'Helpful Hints..' section with the following text: 'After the factory's default settings have been restored, use the installation wizard software provided with your IP camera to search and connect to the IP camera.'

FAQ

Q 本製品の設定を行うコンピュータからWeb ベースの設定メニューにアクセスできません。

- A**
- ① Webブラウザが本製品の対応しているバージョンであるか確認してください。
 - ② LED が点灯していることを確認してください。
LED が点灯していない場合は、UTP ケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。
 - ③ 設定用PC のIP アドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であるか確認してください。
 - ④ コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。
Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personal ファイアウォール、およびWindows Personal ファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。
 - ⑤ 上記の点を確認してもアクセスできない場合は、一度本体の電源を抜き、再接続してみてください。

Q パスワードを忘れた場合はどうすればよいでしょうか。

- A** 設定のリセットを行ってください。
詳細は『工場出荷時設定に戻す : p.65 』を参照してください。

Q 電源LEDが点灯しません。

- A** PoE給電機器が正しく接続されているか確認してください。
また、Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。